

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation study	
開講年度・学期	平成 23 年度・通年	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年	
授業形態	実験	必修 or 選択	必修	
単位数	13 単位	単位種類	履修単位 (45h)	
担当教員	物質工学科全教員	居室 (もしくは所属)	電気・物質棟 3、4 階、専攻科棟 4 階 物質工学実験棟 1、2 階	
電話	各教員内線電話番号	E-mail	各教員 E-mail	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
	1. 自ら研究の問題点を把握し、解決できるようになること (理解度)	②	(A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h
	2. 専門分野の実験技術を習得すること (習熟度)	②	(A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h
	3. 自ら文献調査を行い、実験計画を立てられるようになること (計画性)	②	((A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2))	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h
	4. 研究をまとめる能力および文章作成能力を身につけること (論文)	②	(A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h
	5. 専門分野の英語論文を読み、内容を理解すること (英語文献)	②	(A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h
6. 研究成果をプレゼンテーションする能力を身につけること (発表)	②	(A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d (2-b), d (2-c), d (2-d), e, f, g, h	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1~3、5: 日頃の研究態度、課題などの評価 達成目標 4: 卒業論文による評価 達成目標 6: 中間発表会 (ホ ° スター) と卒業研究発表会 (口頭) による評価				
評価方法				
達成目標 1~5: 指導教員が評価する。達成目標 6: 主査 (指導教員) と副査 2 名による審査で評価する。 評価の割合: 達成目標 1 (10%)、達成目標 2 (10%)、達成目標 3 (10%)、達成目標 4 (20%)、達成目標 5 (10%) 達成目標 6 (40%: 中間発表 20%、卒研発表 20%)				
授業内容				
4 年次後期の総合工学実験で配属された研究室において研究テーマ選択を行う。 各指導教員の下、研究テーマに沿った文献調査 (英語文献を含む)、実験方法の検討、装置の組み立て、試料の準備、実験、結果のまとめを行う。最終的には、これらのことを学生自ら行うことのできるようにする。 研究成果の発表は、中間発表会と卒業研究発表会にて、2 回行う。中間発表は、ポスター形式で 10 月初旬に行う。卒業研究発表は口頭発表形式で 2 月初旬に行う。 研究成果は、卒業論文にまとめ、2 月末までに指導教員に提出する。				
キーワード	卒業論文、研究、英文読解			
教科書	特になし			
参考書	各指導教員が推薦する研究に必要な書籍			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	物質工学科全ての授業科目			
現学年の関連科目	物質工学科 5 年全ての授業科目			
次年度以降の関連科目	なし			
連絡事項				
特になし				
シラバス作成年月日	平成 23 年 3 月 8 日			